

カモフラージュ (ネイチャーゲーム)

プログラムの概要・ねらい

周りに同化する色になったり（保護色）、色や形を周囲の他のものに似せたり（擬態）して、カモフラージュしている生きものが、身近な所にもたくさんいる。目立たないように置かれた（カモフラージュ）人工物を注意深く探すことを通して、観察力を養う。

場所	自然の家内及び周辺（屋外ならどこでも）	
時間	30分～45分程度	
値段	無料	
季節	年間	
人数	2～20人程度	
準備物	【利用者】活動に適した服装、カモフラージュ小道具 ロープ10m×3本程度、救急用品 【自然の家】特になし	

①準備

事前にグループに合わせたプログラム展開を検討し、活動場所の自然環境や危険箇所を確認する。活動開始前に安全面についての指導を行う。

②実施の流れ

【所要時間】

事前準備

事前に「カモフラージュコース」を決め、人工物をセットし、順番をメモしておく。

説明

5分

子どもたちをコースの少し手前に集め、ルールを説明する。

活動

20分～

- ・ この先のロープの向こう側に人工物がいくつか置いてある。（人工物は隠さず、姿勢を変えて探せば見付かるように置く）
- ・ 範囲…奥行き：ロープより1m程度、高さ：背丈程度
- ・ 一人でロープに沿って歩いて探します。（人には伝ええないこと）
- ・ 前の人の追い越し可だが、後戻り不可。
- ・ セットしたものを触らないこと。ロープの向う側に入らないこと。
- ・ ゴールのところにいる指導者へ、見付けた物の数をそっと伝える。
- ・ 間違っただけの場合は、はじめから再チャレンジする。
- ・ 全員が最低2回ずつ探し終わったら、答え合わせをする。

答え合せ

5分

振り返り

5分

- ※ まとめ：見付けやすかったものと見付けづかったものは、どのような理由だったのかを話し合う。
- ※ カモフラージュ以外にも身を守るために、生きものたちはどんな行動をとっているか考える。（いやな匂い、警戒音など）
- ※ フィールドへカモフラージュしている生きものを探しに行ってみる。

応用

懐中電灯を使った夜のカモフラージュも、昼とは雰囲気の違いが楽しい活動となる。

詳細は…日本シェアリングネイチャー協会HP <https://www.naturegame.or.jp/>

※宿泊棟・食堂（レストラン森の木）・大浴場・シャワー室内には入れない。また、プログラムで他の利用者が使用している施設には、入らないように指導する。

※注意が必要な動植物があるので確認し、スズメバチや毒ヘビ等に遭遇した場合の注意を徹底する。（別紙 注意が必要な動植物参照）



③後片付け

設置した人工物を全て回収する。